

映像豆知識 メタバースって何

最近「メタバース」という言葉をよく耳にしますが、メタバースとはいったい何なのでしょう。今回は、メタバースについてよく知らない人、よくわからない人のために、メタバースとはどんなものなのかをご紹介します。

● メタバースって何？

現在世の中では、メタバースについて様々な見方があり、同じメタバースと言っても、人によってその意味するところが違っている場合があります。それは、ちょうどインターネットが世の中に出てきた時に、「インターネット」という言葉を、ある人は「ホームページ」のことだったり、ある人はメールのことだったり、別々のイメージで話していた時と似ています。

前置きが長くなりましたが、メタバースとは広い意味では「インターネット上の仮想空間」のことになります。何か特定のサービスやアプリ、商品を指しているわけではなく、基本的にはそれらをまとめた概念や技術のことを表しています。従いまして、誰かが「私はメタバースをやってます」と言った場合、それがゲームのことなのか会議のことなのか、人それぞれということなのです。

また、メタバースというと「Googleのような物を付けてやるもの」というイメージがありますが、それも少し違っています。360度視界のすべてをコンピュータグラフィック(CG)が作り出した世界=VR (=仮想現実)を体験するにはVRゴーグルが必要になりますが、メタバースという意味では、普通にPCの画面でもメタバースの世界を体験することはできます。VRゴーグルを使って利用できるメタバースの方が視界が100%仮想空間になり、没入感が高くなるということです。



必ずしもVRゴーグルは必要ではない

● メタバースの種類

現状世の中に存在するメタバースの代表的な種類は下表の4つになります。ただし、サービス例で挙げたものの中には、「それはメタバースではないのでは？」と言われるものもありますが、あくまで広義のメタバースに入るであろう、という観点で挙げております。

種類	概要	サービス例
ゲーム	VRを使うなどして、インターネット上でつながった人たちが行う、没入感を高めたゲーム全般。	フォートナイト、Apex Legends、あつまれどうぶつ森、サンドボックスなど
バーチャルイベント	コンサートや展示会、講演会など、人をたくさん集めて行うイベントを、メタバースの会場で行う。出演者も観客もすべて各々分身=アバターで参加する。	米津玄師がフォートナイトでライブ、バーチャル渋谷、東京ゲームショー2022など
バーチャルショップ	仮想空間に店舗をつくり、接客や商品陳列をその仮想店舗で行う。お客さんはアバターになってショップに立ち寄り、買い物を行う。	Beams, Burberry, など
バーチャルオフィス	仮想空間にオフィスをつくり、社員はアバターとなり、その仮想オフィスに出勤する。また、会議や研修もそこで行う。	Horizon Workrooms, Mesh for Microsoft Teams, Virberaなど

● メタバースの関連ワード

ここで挙げたのは、あくまで現状でのメタバースの使われ方の一部です。将来的には、もっと別の使われ方がされるかもしれません。

ワード	意味
ブロックチェーン	データの保存方法の一種で、特徴の1つ目は、データの改ざんや破壊が難しいことです。2つ目は、データの管理が分散して行われていることにより、どこかが故障・停止しても全体に影響を与えない、ということです。NFTや仮想通貨の基盤となる技術です。
NFT	デジタルアートやデジタルコンテンツなどのデジタル資産を、唯一無二のものとして、またその所有者を紐づけることができる技術です。
仮想通貨	電子データのみでやり取りされる通貨であるが、それを発行する主体(国や企業)が存在しない、そして発行できる上限がある、ということが特徴である。仮想通貨の取引は、仮想通貨取引所で行われる。メタバースの一部では、その中で取引を行うために仮想通貨を使用するため、仮想通貨を持っていることが前提で参加できるものもある。
デジタルツイン	現実の世界をそのまま仮想空間に再現する技術のことである。例えば、実際の工場と全く同じものを仮想空間に作り、センサーで逐次情報を仮想空間上の工場に反映させることで、事故を未然に防ぐ、などの使い方がある。

ワード	意味
VR	VR=Virtual Reality=仮想現実 現実に近い環境を、CG(コンピュータグラフィック)や3Dなどを使ってコンピュータ上に作り出す技術のことである。VRゴーグル(=VRヘッドセット)を装着し、VRの世界に入ると、360度CGが映し出され、視線を動かすと周りの風景も動くなど、現実に近い没入感が体験できる。
AR	AR=Augmented Reality=拡張現実 現実を仮想的に拡張する技術である。現実の風景の中に(上に)、CGの映像を表示させ、まるでそこに存在するかのうような体験ができる。「Pokemon Go」はまさしくAR技術を使ったゲームである。

● 実際にメタバースを体験してみよう

それでは、実際にメタバースを体験してみようと思うのですが、VRゴーグルを持っている方は少ないと思いますので、VRゴーグルがなくても体験できるプラットフォームを見てみたいと思います。

『Virbera』

<https://www.gaia-link.net/>



Virberaは、アメリカ製のメタバースプラットフォームで、バーチャルオフィスやバーチャルイベントスペースとして利用することができます。日本では株式会社ガイアリンクが代理店となり展開しています。無料でデモ体験ができるので、早速試してみました。

まずギガリンク社のページのデモ体験からソフトをダウンロードしインストールします。ソフトはWindowsかMacのPCに対応しています。インストールが完了すると、アカウント登録を行い、まずアバターの設定を行います。

アバターとは、メタバース内での自分の分身で、髪型や体型、服装などを選択して自由に設定することができます。

アバターの設定が完了したら、早速スタートです。デモ体験では、ギガリンク社が提供している「GIGA TOWN」という仮想空間に入ることができます。

仮想空間に入ると、目の前に案内所があり、そこに受付の女性が立っていました。近づいてみると、「こんにちは!」といきなり話しかけられました。どうやら、ギガリンク社の担当の方のようで、私が目の前に立ったので、話しかけてきたようです。私もPCのマイクをONにして、応えました。

しばらく街の中を歩き回ってみました。コンサートホールや展示ホールなどがあり、まるで一つの街のような感覚を体験できます。また、海辺や野外コンサート場などもあり、なんとなく自然を感じることもできて、不思議な感覚に襲われました。

● メタバースの将来

現状、ゲーム以外の分野でのメタバースの普及はまだこれから、という段階です。フォートナイトやApex Legendsなどのゲームの分野は、VRゴーグルがなくても、ゲーム端末でもプレイできることなどから、とても流行っているようです。一方、サンドボックスなど本格的なメタバースのゲームは、初期投資が必要だったり、仮想通貨が必要だったり、少し敷居が高いので、まだそれほど一般的ではないようです。ゲーム以外の分野については、新型コロナ禍で、リアルなイベントが中止になったり、テレワークが進んだことで、バーチャルイベントやバーチャルオフィスなどは、ある一定の需要が生まれたのは確かですが、まだまだ一般的に普及している状況ではないでしょう。

Facebook社が社名を「META」に変えたように、IT業界や投資業界ではメタバースが非常に注目されていますが、本格的にメタバースが普及するには、VRゴーグルやPCなどのハードウェアや5Gなどの高速インターネットの環境など、まだまだ足りないものがあります。しかし、逆にハードウェアやネット環境が整った時には、もしかしたら映画「マトリックス」のような世界が到来するのかもしれない。生まれた時からスマホやSNSがあたり前のZ世代の次の世代は、生まれた時からVRゴーグルがあたり前の世代が生まれてくるのかもしれない。

クーポンNo. NL28300

クーポンNo. NL28800

クーポンNo. NL281500

ダビングセンター全サービス対象

5,000円以上ご利用で

300円割引クーポン

有効期限 2023/1/31・お一人様1回限り

ダビングセンター全サービス対象

10,000円以上ご利用で

800円割引クーポン

有効期限 2023/1/31・お一人様1回限り

ダビングセンター全サービス対象

30,000円以上ご利用で

1,500円割引クーポン

有効期限 2023/1/31・お一人様1回限り

ダビングセンター
全サービスに使える!

割引クーポン
プレゼント!!

クーポンを切り取りで提示頂くか
注文フォームのキャンペーン欄に
クーポンNo.をご記入ください。



おすすめ映像

中継以外も面白い『DAZN』



この記事を書いているちょうど今、ワールドカップで盛り上がっています。そう、スポーツは我々を熱狂させる最高のコンテンツであることは間違いありません。

「DAZN」はスポーツ専門の動画配信サービスです。サッカーや野球をはじめ、テニス、ゴルフ、モータースポーツ、バスケ、アメフトなど、メジャースポーツを中心に生配信とオンデマンド配信を行っています。昔は野球はもちろんのこと、サッカーやF1なども民放のテレビ局で放送されていましたが、最近はめっきり減って

しまいました。そんな時代に、DAZNはスポーツ好きにはたまらないサービスです。DAZNでは、試合の生配信だけでなく、豪華なゲストを迎えての企画番組も充実しています。例えば、私が好きなF1では、毎週水曜日に更新される「F1 TIME」という番組があります。F1のレースの振り返りや、各チームやドライバーの動向などを知ることができます。野球やサッカーもそうした企画番組が充実しています。月々3,000円(年間契約だと2,600円)と少し高めですが、何か1つでも夢中になれるスポーツがあれば、決して高くはないと思います。

★ ダビングセンターから 2022年11月～ 料金改定のお知らせ

2022年11月より、一部サービスを価格改定し値上げさせていただくこととなりました。輸入品の高騰や原材料の高騰などにより各種材料の仕入れ値が上がり、価格維持が難しい状況となりました。大変心苦しいご案内となりますが、日頃より当社をご利用いただいております皆様におかれましては、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

✎ 編集後記 来年もよろしくお願いたします

今年も多くのお客様にご利用頂きまして、誠にありがとうございました。スタッフ一度、厚く感謝申し上げます。来年も皆さまのお役に立てるよう、従来のサービスの充実に加え、新たなニーズにもご対応できるよう、新しいサービスにも取り組んで行く所存でございます。

引き続き、リンクイット・ダビングセンターをご愛顧のほど、何卒よろしくお願申し上げます。

株式会社リンクイット 代表取締役 中谷 彰



お問い合わせ



リンクイット

ダビングセンター

0120-970027

ホームページ

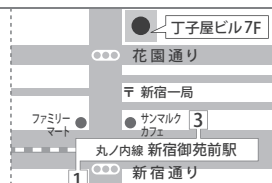
www.tokyo-dc.jp

東京 (東京ダビングセンター)

〒160-0022 新宿区新宿1-36-4 丁子屋ビル7F

月一金 10:00~18:00 (土日・祝祭日休み)

東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑前駅より徒歩3分



大阪 (大阪ダビングセンター)

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-20 松栄ビル7F

月一金 10:00~18:00 (土日・祝祭日休み)

御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩1分

